



新たに22基の風車設置 関係者らが安全を祈願

株式会社ジェイウインドくずまき（橋本龍治代表取締役）のくずまき第二風力発電所建設工事の起工式は6月7日、関係者ら約40人が出席し、上外川地区にある畜産開発公社牧舎跡地で行われました。

新たに2,000kw16基と2,100kw 6基の合わせて22基を設置。最大出力44,600kwの電力供給が見込まれます。6月に着工し、平成30年9月完成予定。約6カ月間の試運転を経て平成31年3月の本格稼働を目指しています。

供給される電力は、東北電力へ売電されます。

工事の安全を祈願して執り行われた神事の様子



リズムに合わせて踊育 五保で親子ダンス教室

五日市保育園（畑中節代園長囑託員・園児12人）は6月12日、社会体育館で公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会が行っている「踊育-東北ダンスプロジェクト」の一環として、親子ダンス教室を行いました。

インストラクターの坂本美南さんの動きに合わせて子どもたちと汗を流した土谷直子さん（五日市・33歳）は「少し疲れたけど楽しかった。機会があったらまた子どもと一緒に踊りたいですね」と、笑顔を見せました。

インストラクターの坂本美南さんの動きに合わせて体を動かす五日市保育園の園児と保護者の皆さん

吉ヶ沢小の子どもたち 泥んこで田植えを体験

吉ヶ沢小学校（大森正章校長、児童6人）は6月6日、瀧渡正吾さん（吉ヶ沢・73歳）の田の一面で田植えの体験をしました。

同校では、もち米の種まきから苗植え、収穫、販売までを年間を通して取り組んでおり、子どもたちは、声を掛け合いながら慣れた様子で田植えを行っていました。初めて体験した工藤竣くん（1年）は「泥んこが気持ち良くて、楽しい。来年も田植えをやりたい!」と、足元の泥を手でかき混ぜながら感触を楽しんでいました。



泥はねも気にせず慣れた手つきで田植えを行う吉ヶ沢小の児童たち

科学の楽しさを実感 家族でロボット教室

6月17日、家族ロボット教室（富士通コンピュータテクノロジーズ主催）が町総合センターで行われ、町内外から17組が参加しました。

参加者らは、親子で協力しながらロボットを組み立て、コース上を走らせるためのプログラムを作成しコースを一週するタイムを競い合いました。

同教室に参加した近藤優丞くん（葛巻小6年）は「プログラミングが大変だったけど、うまく走らせることができてよかったです」と充実した表情を見せました。



自分の手で組み立てたロボットをコース上で走らせる子どもたち



葛小2年生が役場見学 楽しく町の仕事を学ぶ

葛巻小学校（藤村一夫校長・児童118人）の2年生は6月13日、役場見学を行いました。

職員から各課で行っている仕事内容などの説明を受けながら、保健センターや役場庁舎をくまなく見学。初めて足を踏み入れる町長室や議場には、少し緊張した面持ちを見せていました。

くずまきテレビのスタジオでは、実際に行われている収録の様子を体験。目の前に座って話すお友達が、テレビ画面に映し出されるたびに歓声が湧き起こり、子どもたちはひととき目を輝かせていました。

くずまきテレビのスタジオで収録の体験をする児童ら



らく 楽よりも楽しいを選択 中高生が先輩から学ぶ

葛巻高校（上柿剛校長、生徒137人）は6月7日、同校体育館で進路講演会を開催。中高一貫教育の取り組みとして行われ、同校の生徒のほか町内の中学3年生ら約200人が出席しました。

盛岡グランドホテルに勤務する同校卒業生の緑川貴洋さんが「社会に出るための心構え」と題し講演。身近な例を挙げながら物事のとらえ方などを具体的にアドバイス。向川原麻衣さん（葛高3年）は「今後の進路選択に活かしていきたい」と、先輩からのメッセージを細かに書き留めていました。

メモを取りながら講師の緑川貴洋さん（葛巻高校卒・田子出身）の話に耳を傾ける生徒たち